

【戦前にサンタ・オリンピア耕地で就労した人々】

*秋永熊吉、1912年5月、巖島丸（第3回移民）香山六郎通訳（「平野25周年史」）

*矢野浅太郎、1912年 同上 同 福岡県三井郡、コーヒー園就労、後年カフェランジア在住（「ブラジル日系紳士録」466ページ）

*坂本一徳、原夫妻、松村夫妻、佐々木末吉夫妻（第3回移民）（回想録）

*宮崎、平田、須山風蔵、福岡県人移転其の後第1富士植民地へ 同上（回想録）

*高山政太、1913年5月、第2雲海丸（第5回移民）、福岡県浮羽郡コーヒー園就労、後年カフェランジア在住（「ブラジル日系紳士録」468ページ）

*柳原勤兵衛、1913年、帝国丸（第7回移民）福岡県朝倉郡サンタ・クララ耕地からサンタオリンピア耕地。（「ブラジル同胞活躍の姿」）

*橋本鶴吉、（広島県）、大木鶴吉、大木栄次郎、（北海道）、山平某（高知県）、塚瀬某（千葉県）（「今日のブラジル」八重野松男著668ページ）

*牧平福松、1918年9月、博多丸、広島県、最初メンドンサ駅（モンテイ口駅の次）のレスチンガ耕地で1年契約労働、渡伯翌年妻が病気を患ったので、その3年間支出より収入少なく大変であったが後年貯金も出来3年振りに母国に360ミリレース（180円）送金。気候良く住み易い。（1927年「今日のブラジル」668ページ）

1918年、当時の物価（ブラジル貨2ミルレース=日本貨1円）

- | | | |
|------------------|----------|--------------------|
| ・米1俵 | 4ミルレース | ・賃金（朝早くから夜遅くまでの日給） |
| ・フェイスジョン1俵（120L） | 2ミルレース | ・大人2ミル500 |
| ・砂糖1Kg | 700レース | ・子供1ミル500 |
| ・塩1Kg | 100レース | ・1人にコーヒー樹1000本で1ヶ月 |
| ・パーニア（ラード/豚脂）Kg | = 1ミルレース | ・10ミルレースの管理賃金 |

*有馬鉄之助、1924年6月、シカゴ丸、茨城県鹿島郡。（つくばね創刊号7ページ）